

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号	09 04 09	中期総合計画主要施策番号	2-03	担当課	部・課	農政部 園芸畜産課
事業名	乳用種雄牛後代検定推進事業			内線	3174	
				E-mail	enchiku@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	全国規模で高能力の乳用種雄牛を造成し、県下の酪農家の乳用牛の効率的な改良・能力向上を図る。				
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] 乳質、繁殖性の優れた乳用牛が求められている。				
		[原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] 乳製品の消費低迷及び飼料価格の高騰等により酪農家の生産意欲が減退している。				
		[課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] 検定娘牛の生産と調整交配により、乳用牛の改良を進める。				
	事業内容	国で作出した遺伝的能力の高い乳用種雄牛の精液を、県下の酪農家の乳用雌牛に交配し、生産された娘牛の能力検定を実施する。(全国で行っている乳用種雄牛後代検定事業へ長野県として参画)				
実施期間	S44 ~	根拠法令等	長野県食と農業農村振興計画、乳用種雄牛後代検定推進事業実施要領			
成果と達成状況	事業の目指す成果	達成度(期待どおり)の判定基準(H20)		達成状況		評価
	乳用牛における乳成分及び繁殖性の遺伝的能力の向上を進める。 平成27年度家畜改良増殖目標 乳成分(乳脂率:3.9%、無脂乳固形分率:8.9%、乳蛋白質率:3.4%) 繁殖性(初産月齢:25ヶ月)	・乳成分が向上すること。 乳脂率:3.9% 無脂乳固形分率:8.76% 乳蛋白質率:3.26% ・繁殖性が向上すること。 初産月齢:25.7ヶ月		・乳脂率が向上した。 乳脂率:3.99% 無脂乳固形分率:8.73% 乳蛋白質率:3.23% ・繁殖性が向上した。 初産月齢:25.5ヶ月		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下
事業コスト	区 分	単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要
	最終予算額 (A)	千円	242	242	242	国庫・県単 県単
	決 算 額 (B)	千円	242	242		実施方法 補助
	B(H21はA)のうち一般財源	千円	242	242	242	歳出節別 補助金 242
	概 算 人件費	従事する職員数 人	0.90	0.90	0.90	内訳等
	概算事業費 (B(H21はA)+C)	千円	6,668	6,676	6,676	(単位: 千円)
事業実績	内 容	単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績
	調整交配頭数	頭	821	881	729	生産頭数236頭の内雌牛は102頭で、この能力検定を行う。
	受胎頭数	頭	342	402		
	生産頭数(21年3月末現在)	頭	268	236		
事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明				
	事業のニーズの変化	増加	横ばい	減少	判 定 の 説 明 ・調整交配頭数が増加してきている。 ・優良遺伝能力を持った雌牛が経営改善につながっている。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	有効性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	効率性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	課題の総括	本事業の実施により乳用牛の改良が進んできている。今後も事業を継続実施し、乳製品の消費低迷及び飼料価格の高騰に対応するため、乳用牛の改良を更に進める必要がある。				